

○ 第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 委員からの意見要旨と総合戦略への反映案

発言者	意見要旨	総合戦略への反映（案）
中山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・豊山町における観光といってもあまりイメージがない。 ・名古屋空港の立地は強みだと思うので、さらに貨物の取扱をふやして、輸送業を誘致するのはどうか。教育、福祉の充実のためにも産業活性化が重要。 ・畑の減少を目の当たりにしている。町の農業は衰退していくイメージである。（相続税等が払えず、売却され、その後宅地されたところが適価なため、流入人口が増えているという構造も見受ける。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の順序を、 「①子育て②雇用③交流④くらし」から 「①雇用②子育て③交流④くらし」に変更 ・基本目標 雇用を創出するから、「②農業」を削除 <p>基本目標4 安心なくらしをつくる 4) 住み心地のよい住宅地形成 に総合計画1の「②公園・緑地」から、 ①公園・緑地の維持管理 ②公園・緑地の整備とネットワーク化 を追加（49ページ）</p>
船橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・北部市場でのイベントをもっと増やしたらどうか（北部市場の更なる活用）。 ・北部市場の周辺には飲食施設等が少ない状況だが、何か「食」の充実も重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標3 交流・にぎわいをつくる 1) 観光の振興 ①観光資源の魅力向上と発掘 に「○北部市場との連携事業」を新規追加（41ページ）
野島委員 (代理)	<ul style="list-style-type: none"> ・MR Jにより、町の認知度も高まっている。これを期に公共交通の充実を展開すべき。近隣生活圏だけではなく、遠方からのアクセス充実も必要。 ・通信手段のモバイル化が進んでいる。Wi-Fi環境整備が必要ではないか。特に若者へのアピールとしても重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標3 交流・にぎわいをつくる 1) 観光の振興 ①観光資源の魅力向上と発掘 に「○交流拠点における無線通信環境の充実事業（町内WiFi 施設の整備）」を新規追加（41ページ）

発言者	意見要旨	総合戦略への反映（案）
糟谷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・MR Jは全国区の知名度になり、町の強みというべき。空港のある豊山町が中心に近隣市と一体的に広めていく考え方も重要。 ・空港関連で勤めている層には便利だが、一方、名古屋市通勤者には交通不便という意識があるのではないか。町外とのアクセス向上がポイント。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標3 交流・にぎわいをつくる <ul style="list-style-type: none"> 1) 観光の振興 ①観光資源の魅力向上と発掘 に「近隣自治体とも連携して」という表現を記載する（41ページ）
小寺委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人口低下による行政サービスの低下という見方の一方、行政サービスが上がれば人口の流出や減少に歯止めをかけられるという見方もある。観光や産業の振興、道路の整備、治安の向上など住み良さにつながる大事なことであるが、どこの自治体でも話題になることで、かつ全てきちんとやるのも難しい。豊山町としては何で生きていくのか、メリハリは必要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標3 交流・にぎわいをつくるから「④文化財」「⑤芸術・文化」を削除。 総合計画7の「①協働」から <ul style="list-style-type: none"> 2) 協働の推進 ①協働のまちづくりの意欲醸成と参画機会の拡大を追加（42ページ） ・基本目標4 安心な暮らしをつくるに総合計画7の「②コミュニティ」から <ul style="list-style-type: none"> 5) コミュニティの充実 ①コミュニティの意識啓発と参加誘導を追加（51ページ）